

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成22年7月の動向

- 広島市総合指数（99.4）は前月比で下落。前年同月比は16か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.4）は前月比で下落。前年同月比は16か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.1）は前月比で下落。前年同月比は16か月連続で下落。

## 2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.4	▲0.5	▲1.3
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数	99.4	▲0.4	▲1.5
食 料（酒類を除く）及び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合 指 数	97.1	▲0.4	▲1.8

## 3 前月からの動き

～光熱・水道が上昇。被服及び履物，食料は下落。～

### (1) 10大費目の動き

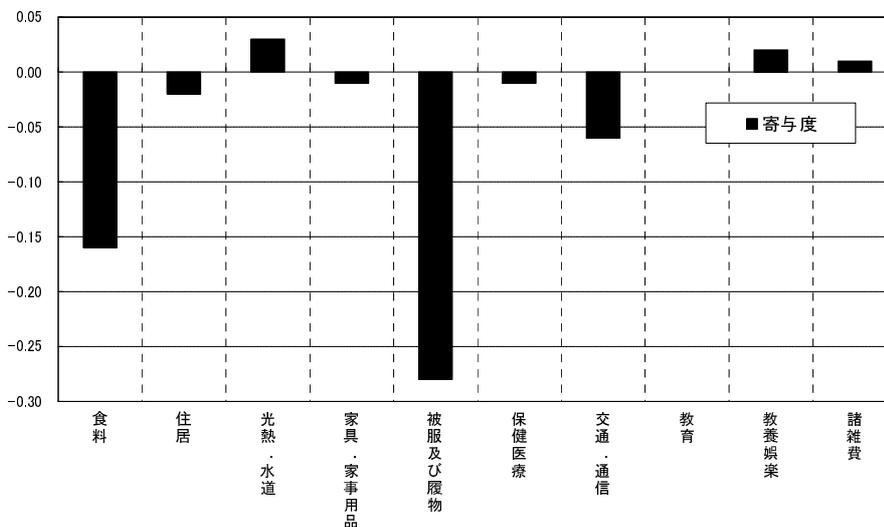
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.4	103.3	100.6	105.5	80.0	100.3	97.9	98.8	93.5	93.5	101.5
前月比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.1	0.5	▲ 0.5	▲ 5.2	▲ 0.3	▲ 0.4	0.0	0.2	0.1
寄与度	▲ 0.5	▲ 0.16	▲ 0.02	0.03	▲ 0.01	▲ 0.28	▲ 0.01	▲ 0.06	0.00	0.02	0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料 : 果物 (前月比▲12.2%, 寄与度▲0.12) 等

被服及び履物 : 洋服 (前月比▲ 7.0%, 寄与度▲0.17) 等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
魚介類（ぶり 等）	2.3%	洋服（背広服〔夏物〕 等）	▲7.0%
肉類（牛肉〔輸入肉〕 等）	2.4%	果物（メロン 等）	▲12.2%
教養娯楽サービス（外国パック旅行 等）	0.8%	シャツ・セーター類（婦人Tシャツ〔半袖〕 等）	▲9.0%
電気代	0.5%	自動車等関係費（ガソリン 等）	▲0.9%
交通（鉄道運賃〔JR〕 等）	0.4%	野菜・海藻（えだまめ 等）	▲2.4%

4 前年同月からの動き

～教育を中心に16か月連続の下落。交通・通信、光熱・水道は上昇～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲1.3	▲0.9	0.3	1.0	▲9.3	▲1.8	0.1	0.4	▲11.8	▲1.8	▲0.3
寄与度	▲1.3	▲0.23	0.05	0.06	▲0.29	▲0.09	0.00	0.06	▲0.59	▲0.18	▲0.02

(参考) 主要要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

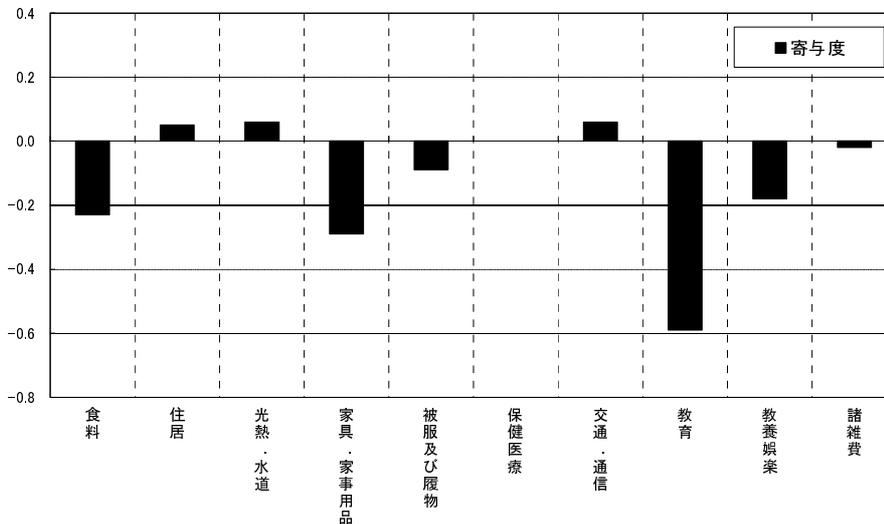
教 育：授業料（前年同月比▲16.0%，寄与度▲0.58）等

食 料：調理食品（前年同月比▲4.1%，寄与度▲0.13）等

家具・家事用品：家庭用耐久財（前年同月比▲15.9%，寄与度▲0.12）等

交 通 ・ 通 信：自動車等関係費（前年同月比1.6%，寄与度0.12）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
自動車等関係費（ガソリン 等）	1.6%	授業料等（公立高校授業料 等）	▲16.0%
野菜・海藻（なす 等）	4.1%	調理食品（うなぎかば焼き 等）	▲4.1%
ガス代（都市ガス代 等）	4.1%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲15.9%
家賃（持家の帰属家賃〔木造中住宅〕）	0.4%	教養娯楽用品（ペットフード〔ドッグフード〕 等）	▲5.1%
他の光熱（灯油）	20.7%	肉類（牛肉〔国産〕 等）	▲4.3%